- 1 -



北海道教区信徒会 結成50周年記念集会 金光教全国信徒会北四ブロック信心研修会

日 時 6月19日(日)13:30~20日(日)12:30 場 ルーシス札幌(札幌市中央区南7条西1丁目)

記念講演 「金光大神の示された真実」 「金光大神の祈りに生きる」 研修会講話

れ

た札幌の隅田武彦氏、

北海

信徒会結成のために尽力さ

道

教区信徒会結成に東奔西走

小樽の近藤正五郎氏、

濭 瀬戸美喜雄先生(金光教甲山教会長 新教祖伝編纂委員)

された、 忠浩氏、亀田の時田侑彦氏、そ 函 の佐川公浩氏、岩見沢の丸山 の会議に出席された網走の新 全国信徒会結成の趣旨に賛同 して札幌の八木忠雄氏、特に、 館の池田司氏、札幌大通り 昭和二十三年二月、本部

北 海 道 区 信 成 五 周 年を迎え

道 東 地 会連 合会長 玉 置

徳

衛

申 IJ わせ参加されますようお されます。 集会が開催されます。 道 ロック研修会が同会場で開催 日には、 事に併せ し上げます。 教区信徒会結成五十年とな 本年 六月二十日に札幌で記念 は て 全国信徒会北 願いを立て誘 表題のように北海 前日の六月十九 この行 兀 願い 11 御 昭氏、北見の田代皓彦氏、 IJ 前をああげすると、 教会連合会結成 谷泰造氏、また、この道東地 め

尽力された、

十勝の伊 に多年に

藤

わた

その信

お名

あらた

て敬服させられます。 用ぶりが想起され、

に 史」(金光教信徒会連合本部) 文が、「金光教信徒会 お元気で御用くだされている 新谷泰造氏のご執筆による 掲載されております。 こうした五十年の 間 五十年 今も

全国信徒会創立 五十周年に寄

ŧ

だきますのでお読み下さい。

にその全文を転載させてい

創立五 十周年、 思えば感無

量であります。

残っております。 十四歳であり、 連合第一 じた。 回の中央委員会が本部であ 今思いますと小生も弱冠三 その時の写真が今も

このお言葉を体して、

お

願

しし は

切

の方ばかりの会合でありましたが、 後の懇談の中で、 会議のあと宿舎で夕食会があり、 全国の代表的な篤信 異 食

「同音に申されたことは「神が判らな 」、「信心が判らない」という謙虚 な なりました。

とはわが心が神に向かうのを信心とい 心は親に孝行するも同じこと」、「 信心 員長が、一言「神がわが本体の親ぞ、信

ことでありましたが、甘木の平田副委

うのじゃ」とみ教えにあるではない に印象に残っております。 と説破され、 一同感に入ったことが特 か、

こと 今の信心。 その後、 人となられたでありましょう。 しましたが、 中央委員会の会合には参加 四代金光様が強く申された 当時の方は恐らくみ

記念集会の詳細につい

ては各教

会にお問い合わせ下さい。

なお、

参加

争し

込み

の締め切りは五月

十五日となっております。

お願 万事おかげの中の出来事 61 より お礼がさき。

> まかせ。 排 に沁みてよく判らせていただくように たお礼を、 せていただき、 和賀心」教祖のみ教えの 除して御礼 の信心に切り換えることにさ 大事にしております。 特に今日一日生かされ 筋に、 お 願 一つ一つが身 61 は 以来 切 神

有難いことです。

五十年これからの五十年年若楓 御用奉仕い よい 、 よ 重

金光教信徒会五十年史より)

道東地区各教会の大祭日程

生神金光大神大祭 天地金乃神大祭 釧 5月23日 0月24日 路 北 見 5月 3日 1月 3 日 + 4月18日 1月21 勝 帯 広 4月25日 走 5月30日 0月31 日 網 5月15日 10月 滝 上 2 日

道東地区教会連合会ホームページ

http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/DOTO/

動

報

・予定・お知らせ・こんなことがありま た 情報交換 のひろば

滝

紋別郡滝上町元町士別通り

い 祈 されて淋しノくなってきて 年会を開催しました。 に 集ま 7 念 顔を合わせて元気を出 るがそれでも、 もらうと、 金光大神の信心を守ら 月三日、 して、 ij 山崎 信木さん夫妻や大内 さんなどが帰幽 神様に新年のご 信奉者 例年どお 皆さん 出来る限 が り新 近年 教 頑 会

さん、 Ź 張っています。

ます。 たり、 ち りのことなど、 歩みに真剣さが伝わってき て頂きたいものです。 の信心の足跡をたどっ お 墓 末々おかげをい のことや、 その時 マカの た お参 だ

網走教会

TEL 〇一五二 四三 三九五四網走市北四条西一丁目六番地 A X 〇 五 二 四三 三九五四

1) 頂 事 お年柄に 会にとっては布 教祖様の百二十年、 難く感謝に堪えません。 これ を滞りなくお仕えさせて 昨年 きましたことは、 İψ までの歴史の中で幾 にあたり、 教団にとっては 教 八十年 そのご祭 網走教 真に ற் 有

会が、こうい

う状況

に

をお借 え、 IJ が えるも、 度 十年でありました。 た連合会各教会のお祈り添 し上げます。 一丸となって教 かの教会存続の お力添えを頂い それを支えてくださっ IJ その時々の信奉者 U て改めて御礼 危 会を守 ての八 機 この場 を 申 迎

我が身 取 拝を通して、 諸 ます。 り組 々の行事、 今年も御大祭をはじめ、 の Ь 助 で ま か 日頃の りとの 人の助かりは しし 1) 発古に ١J 教 と 存 会 参

北見教会

TEL OI五七 二四 北見市寿町三丁目五番一 七四七四 号

までに無くなるのだろ

るようで、

先祖 (先輩た

自分の家の「信心」を考え なっていると、なおさらに

> す。 たり、 してい Ιţ どの けに が雪 行 受けているように見受け 小さな花木でさえも被害 教会周り れます。 れており、 を受けて んだ今でも大きな爪 のお宅でも庭 わ 7 追 百 年 の重さでつぶされ 春を迎えて雪 記 れ いろいろなものが雪 教 会 わ ま 外に置い 録的 る ħ す。 L١ ات — の雪が五月三日に まだ残雪も多く、 7 てい て、 の庭木も ツツジの 天 地 な今年 木 度 てあっ の L١ その後片づ 信者 金)技が 一解け るようで と言うほ 乃 ような 枝が折 の 痕 皆様 る た 折 を の 5 を な 物 れ 害 進

うかと思うほどで

教

会

に

参拝なされ

て

います。

ŧ

顔なじみ

の方が年々少

誠に残念に思い 短い きな役割を担ってい の三月に いたお二人をこ 石田誠樣 期間 見教 b 樣 今まで教会活動 合い が亡くなられ は、 で失ってし 会では ゃ が亡くなり お手伝 信徒 0昨年秋 会副 のような ただ F ま L١ 皆樣 会長 で大 ま 今 年 い 行 に 矢 ١J 事

なく か パ 1 会が当番教 を進 る方 がするとは 年 の なつてお 東 クゴル これか め マと力 地 てい X を合 思い フ らも残され IJ 会になって 親 に きたいと思 行 睦 6 ゎ 寂し ま わ ょす。 交 ť は れ 流 い思 北 ą ぉ 会 見 信 し L١ て

> لح す。 の 1) 共 皆 ŧ 樣 す。 に の お 参 待 加 で きし を教会長先生 きるだけ て お I) 多 < ま

> > そ LI

時見

え

な

け

ħ 的

主

の

自己

中心

に

隠

L

てし

まうな

き方

働

帯広 教会

T E L 帯広市東四条南八丁目四番 F A X 〇 五 五 五 Ξ Ξ 六八三 六八三 五五斑

> 時 神

大

いろい 三日の ます。 U ると、 れ ١J さ なった犬の糞、 なっていた雪も大半 多 ろなモ ゚ます。 え 良 た。 ĺ١ 今 せ 车 毎年、 暖 け ろな「業」 ١J あちらこちらに ഗ 一つには、 しかし、 か遅い て小 ħ J かさで、 春 が 現 ば の ょ 銭 訪 など、 ように 一 の 下 しし れ 空き缶、 れ الم ま が 出 は 歩 Ш す。 <u>の</u> <u></u>、 から 解 L١ 積 61 固 て て け 思 雪 み 我 3 < き は わ も 11 ま に

め

また、

その陰から

枝

5

小

ż

福

寿草の花も

寄り添うよう

さな難 会境 す。 の ば な 重 雪 行 シャ 内に たさ もう れ 儀 人間 の L١ が て 帯広 を見直. 送りたいものです。 てり 中心 か和ませてくれ きのあり 分より執り行 四月二十五日十一 ただき、 的、 め 教会「天地 し 自分勝 が 天地 たさを気づ 私 日 たちは ま セ の 手な 金 す。 の 恵 乃 生 み 生

活 か ゃ

を せ

見え隠れ

て

L١

ま

一つには、

雪や氷

の根

底に

ある小

ぎ の 11 水に クナゲなどの草木が折 この長い冬が終わ ますが、このような雪 あるおんこ、 に をし まい 耐 えきれ な か 命 ていた中に の元をつくり ij ました。 <u>ਰੂੰ</u> えぼ い蕾が の渇水 残 教 ば ij 念で た、 ŧ ょ す。 は出 牡丹 冬囲 を でも あ 防 ij 始

十勝教会

しし 除 のうち合わ 前 て に の 十 た 春 道 を皆でさせてい +にだき 東 のご大祭を仕えさせ 勝 地 教 日に ま X 会 せを兼 す。 のト は は、 その ップを切っ 四 大祭御 ね 月 ただき た大掃 週間 $\bar{\tau}$ 用 日

吹か

せており

ま

す。 L١

こ

の

ょ

に咲き始め

τ̈́

の

ちを芽

たちに

天地

の

広

大

な恵 ると、

み

•

きを感じ

さ

心

を

なぜ

うな草木を見

てい

私

会

ഗ

周

井

に

ま

だ

多

<

L

た。

今冬の大

ഗ

影

響

は

玉

の

問題であろうと、

地

残っており、

境 内

の

雪

だされ、 ない ıΣ 割り した。 を迎えられそうです。 を経営されている方 るみたい 木 業車を持つ まるでヒマラヤ登 世界ではイラク戦争をは の 皆 普段なか 真 剪 階の外窓や、 ま ょた、 定をしてく 気持ちよくご大祭 心 だ」と仰っていま ō 、ださっ 電気 御用 な てきてくださ が手 をし Ï 北 境内の Ш 'n の が 事 た 側 るな 高所 会社 てく 方 届 U ば て か

> す。 和 さ きである し L١ きたいと思います。 て改めて「人間 は 天地金乃神大祭をとお を詫 を御祈念させ 必ず通 び ならば じると 「世界真 神様 て 思 の L١ 勝 た の の しし だだ 平 手 ま 願

釧路

ろ、 を持っ 男子児童がカッ が慌てて教会に来て、 FAX 〇|五四 四 | 新路市宮本一丁日 .. ろ れま ートルも追い 時五十分頃、 兀 日進小学校の教頭 月 でにニ と言っ た男に、 六 日 の 回 午 回され 小学三 ター ほどそう a 後 お — — 三 三 六 五 ナイフ 11 年 _ 五 た 先 時 号 生 0 の

す。

め

々な問題が山

積

かで

水

の

無い

所は

て

も

地

と教祖

様が教えられ

るよう

の

世

原は

全 の

て天地金

乂 け

の

お

働

き

中

ات

ある

こ

の 神

そして、

何

処の

う事

件

が

あ

ij

警察

のパ

の

いところは

なし。 あっ

> 続 Ļ まれ た の訪問でした。 ī が 町内 ル た 入学式. とん 強 <u>.</u>会 祀 だ事 の を に お 対 なっ 件に巻き込 願 応 を たが 願っ L 7 て L١

るが、 町 内 教会長は教会 会 一の総 瞬 務 郡 長 の を あ る宮 て 本 L١

ばならない Ć 「こういう者ほ 心 を直 し て ど神 あ げ I な け 願 れ つ

連絡網 5 まし 方々に、 らうように、 登下校、 の 連 長 や各部長に に願い、 よぎりまし と言う金光 から副部 回覧 絡 それ た。 Ū を作成 てもらうように を使って、 お詫び となく注意 子供が遊 そのうえで、 近所に配布 たが、 連絡 教祖 長に、 町 Ų 内 Ų U 樣 学 校 斑長 町 なが h の 心 の で神 役 で そ 内 言 しても ても l1 緊急 頼 E の 会長 葉 5 員 の 部 ع 樣 た み が の

らうように ました。 お 願 しし て歩

ま す。 中です。 Ιţ 町内会とし を すべきか、 5 て、 まし 樣 からでした。 長からこの 会の部長会議 持ったまま に お 迷 帰宅 たが、 礼 ίį こういう時には、 ഗ 夕食後になってし その され 祈 L た 心 ての まし 問題 度 後 U 金光教教師とし にわだかまりを の 薬れ」ですか ご神前 ま の が は あり、 こに じた。 対応を た。 対応 日が 十日 お 詫 の早さ 暮 今後、 での に どう 本当 ま 相 町 て び れ 内 しし 神 7

第 月日 4 場 回道東地区教会連合会 所 交流パー クゴルフ大 北見市もい 七月十一日 ツワ Ì ル 会

に

なります。

平成十六年度・道東地区教 連合会総会につい て 報告

ての 総会では、十五年度事業・ 会場に行われました。 る二月二十九日 (日) 道 討議が行われ、 東地区教会連合会の総会が、 十六年度事業案・予算案についでは、十五年度事業・決算報 承認されまし に十勝教会を 去

事は なお、 連合会主催の本年度の主 な

ました。

た。

役員改選 第四回パー クゴルフ大会 七月十一日 (日) 北見市

れ あい また、 ました (後述)。 よかけよのつどい」が開催さ 総会行事後、 研修会として

場 を移して行われました。 懇親会は士幌町のプラザ緑風に会

あ しし ょ かけ よのつど 61 道東地区集会

地区教会連合会の共催行事である、 金光教北海道教務センターと道東

> 場に開催されました。 集会が二 あい よかけよのつどい」 月二十九日に十勝教会を 道東地 $\overline{\mathsf{X}}$

動 体的な実践例を交えながら懇談を行 動」を実践していけばいいのか、 の L١ 日常生活の中でどのようにして「運 後、 」の実践について講話を聴き、 先生から「あいよかけよ 当日は講師の名寄教会長 男女別のグループに分かれ、 の生活運 • 高 橋 具 そ 健

教区少年少女キャンプ の ひ ろ ば

祈り、

対話、

行動をもって

開催されます。 りのひろば」が本年も左記の日程で 教会連合会の共催行事である「みど 金光教北海道教務センターと各地区

A 会場

月日 七月二十三日 (金)

道東地区教会連合会事務所

〒0八三 0001 中川郡池田町旭町一

金光教十勝教会 九 ~二十五日 (日)

場 所 内容 カヌー、 洞爺湖滝ノ上キャンプ場 有珠山ハイク等

B 会場

場所 月日 八月六日 (金) 旭川市江丹別キャンプ場 八(日)

内 容

ソバうち、ゲーム等

ださい。 す。 らか参加しやすい日程で参加してく 本年も二会場で開催されます。 両日程ともの参加も可能で

あ いよかけよの生活運 動

願 い

わが心の 神にめざめ

神を現す生活を進め

共に助かる世界を生み出そう



平成 16 年度 道東地区教会連合会総会 (2/29) あいよかけよのつどい道東地区集会









平成 16 年度総会 - 会長挨拶 (上左)につづき総会行事が行われました。 会場は十勝教会

あいよかけよの集い道東地区集会

総会ひきにつづき高橋健一先生(右下)を講師に「あいよかけよの集い」が開催されました。









あいよかけよの集い道東地区集会 講師の講話を聞いた後にグループ懇談を行いました。





おまけ・懇親会 総会、あいよかけよの集い終了後、会場を士幌温泉プラザ緑風 に移して懇親会を行いました。





池亀・連合会信徒会委員長の発声で乾杯!



